令和８年度 国の予算・制度等に関する要望 実施報告

1	開催日時：令和７年 10 月 29 日（水）16：00～16：20
2	訪 問 先：自由民主党東京都支部連合会
3	参 加 者：梶山理事長、榎本副理事長、坂野副理事長、横田幹事長、川上職員

対応議員：衆議院議員：　平将明、高木けい、福田かおる、安藤高夫
　　参議院議員：　朝日健太郎、鈴木大地

最初に、梶山理事長から平将明政調会長に要望書が提出された。

その後、平政調会長からの挨拶、梶山理事長挨拶の後、政連側の要望説明が横田幹事長から行われ、以下の内容について意見交換を行った。

【意見交換】

（朝日議員）

特定技能の合格率が低いということで、ビルクリの特定技能について問題は日本語の部分かと思われるが試験の技術的な部分の内容を伺いたい。

（横田幹事長）

基本的に清掃業務を中心とした技能試験である。技能を活用した業務提供の前に、挨拶やコミュニケーションができないと業務上支障をきたし、お客様にも迷惑をかける場合もあり、試験内容を緩和していただきたいということである。

（安藤議員）

業界で雇用している障害者の種類としてはどのような方が多いのか。

（横田幹事長）

比較的多いのは精神障害の方である。精神障害の方と違い、知的障害の方については、トラブルも多く、サポーターが必ず必要となる。東京都にも陳情しているが、国についても単価設定にサポーター費を含めてほしい。

（平議員）

外国人雇用については言語の問題はあるが、現在はスマホなどの技術支援もあり、厚労省には、業種による日本語の使用頻度などに合わせて、テクノロジーを前提にした試験制度にするように指示をしている。

スライド適用については、他団体からも要望を受けている。現在は名目経済に入ってきているので、政府の課題として取り組んでいきたい。

BM 議連を通じて諸々の要望も進んできていると思うが、思うような効果が出ていないものもあり、改めて周知徹底に努めていきたいと思っている。

年収の壁支援パッケージも使いにくいとの声が多く、こちらもブラッシュアップできるように努めていきたい。

（高木議員）
　障害者雇用について、協会で特別支援学校への教育を行っていたと思うが継続してほしい。また、指導員の費用はまったく計上されていないものか。
（横田幹事長）
　特別支援学校への技術指導は継続している。
　直近で東京都の議会棟において、指導員の費用も積算されている案件が出ている。ただ、国の案件ではまだなく、継続した検討をお願いしたい。
（高木議員）
　スライド条項の文言を入れるのか、しっかりと実を伴う契約変更をした方がよいのか、業界ではどちらを希望されるのか。
（横田幹事長）
　工事ではスライド条項という文言がはっきり示されている。契約変更では具体的なものが見えにくい。都 23 区を中心に、スライド条項を明確にうたったり、公契約条例の中で労働報酬制減額を超えなければならないと記載されているものも出てきており、「スライド条項」という文言の方が、理解がしやすいと思っている。
（横田幹事長）
　全省庁の統一資格に対する付与点数については、昨年も要望しているが、国の場合、例えばマンション管理でいうと不動産会社は、管理と販売が一緒に売上高算出されるので、BM 事業者は総じてランクが低くなってしまい、付与点数も低くなる。現在、総務省を中心に統一化に向け検討を進めていると伺っているので、この点もご配慮いただきたい。